

第 27 回全国介護老人保健施設大会 大阪 研修会③

「老健のケアの質の向上について考える」 老健のケアの質とは何か。次回の介護報酬改定に備えよう。

平成 28 年 9 月 14 日（水） 大阪府：大阪国際会議場 10F「1001～1002」

老健のケアの質とはなんのでしょうか。そこには例えば転倒や褥瘡のリスク事象の発生率、在宅復帰率、各種機能の改善率、利用者満足度など様々な要素があります。

この研修会では介護の質を多角的にとらえて、どのように測定し、介入するかマネジメントを学びます。また平成 30 年度の介護報酬改定では、ケアの質のアウトカム評価が始まる可能性があります。その準備にも役立つ研修になるでしょう。

カリキュラム

時 間	内 容	講 師
12:00	受付	
12:50	オリエンテーション	
12:55	開講式	全老健
13:00 13:50	厚生労働省が考える介護の質について	厚生労働省老健局老人保健課 介護保険データ分析室長 西嶋 康浩
休憩		
14:00 15:00	全老健における介護の質のデータ分析について	全老健 常務理事 大河内 二郎
休憩		
15:10 18:00	グループディスカッション 参加者が考える介護の質について 普段の介護の現場においてどのようなことが皆さまの施設の質を表していると思いますか。 それは、どうやって測定できますか？ またそれはどうやって改善できますか？ 皆さまの様々な知恵を集めましょう。	全老健 研修委員会 委員長 浅井 八多美
18:00	閉講式	全老健

平成 28 年 4 月 27 日現在

* プログラムの内容・時間は変更になる場合がございます。